



山梨の牧場に引き取られることになったサラブレッド
―神戸市灘区の六甲山牧場で

余生悠々

閉鎖の六甲山乗馬センター

五月上旬、赤字を理由に突然、閉鎖され、「処分されるのでは」と心配されていた神戸市灘区六甲山町、市立六甲山牧場乗馬センターの十頭の馬が六月八日までにすべて引き取られることになった。近畿各地や東京、千葉、広島などの個人、牧場、施設などから申し出が相次ぎ、今後は障害を持つ子どもたちや乗馬初心者のお相手として余生を送る。

乗馬センターは五月七 えば七十歳以上の高齢で、全国から二十件近い問い合わせ、閉鎖され、近く馬場は 引き取り手が見つからなかつた。ところが、五月中旬、新聞で報道されると、田林市の精神薄弱者施設

困ったのがサラブレッド八頭とポニー二頭の処置。平均年齢二十歳と、人間でい

10頭、落ち着き先決まる

「金剛コニー」に、サラブレッドは宝塚と広島県福山市の牧場に各二頭が引き取られることになった。

年齢がやや高い残り六頭も、かつて同センターの乗馬教室に通っていた人たちが、合宿などでよく利用する山梨県小淵沢町のユーカリ乗馬会―杉本広義会長(七二)に頼んだところ、

「三万坪のわが牧場で悠々自適の老後を送ってもらいます。馬にも暮をちゃんとつくるんですよ」と頼もしい答えが返ってきた。

福山・山梨…
障害児や初心者のお相手